

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0764
施設名	東小松川おひさま保育園
施設所在地	東京都江戸川区松島1-40-18
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

惑星泥だんご(土と色)

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

園庭には大きな砂場があり土に触れる機会がある。子ども達は国旗に関心を持つことが多く、地球儀をよく見ている。そこから宇宙に興味を持つケースも多いことから「惑星泥だんご」作りを行い「土」が固まっていく様子や「色」への興味や関心を深め、自分だけの惑星を泥だんごで表現し遊びを発展させる。

2. 活動スケジュール

12月/クリスマスの時期にツリーと一緒に星と惑星ポスターを飾り星への興味を深める。

1月/4, 5歳のクラスに惑星図鑑や宇宙の絵本、地球儀等を展示し表紙を掲示する。

同時に泥だんごの絵本も設置し、園庭での泥だんご作りを活発に行う。

宇宙のDVDを視聴し更に興味を深める。

ライトテーブル等を使って色の変化を楽しむ。

「泥だんごって惑星みたいだね」に繋げ、ワークショップを楽しみに待つ。

2月/どろだんごワークショップに参加する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

興味を引くよう惑星や宇宙に関するポスター等掲示し、たくさん本を展示した。

また、英語あそびの日には惑星の名前を英語で教えてもらい更に興味を引く工夫をした。

色への興味には、ライトテーブルやカラーパネルを用意した。キットパスを使ってたくさん絵が描けるよう室内だけではなく戸外にもブラックボードなどを準備した。

泥だんごの続きを楽しめるよう、泥だんご倉庫も準備した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

クラスでは宇宙の図鑑やDVDを眺めたり惑星ポスターを設置したことで、普段触れることのない宇宙への理解を深め、制作活動を通してさらにイメージを膨らませていた。園庭では保育士が見本をみせながら泥団子作りを行った。さらにワークショップで様々な土に触れ、楽しみながら泥団子作りを教えてもらった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

園庭では泥団子作りが盛り上がり、集中してじっくりと取り組んで達成感を味わったり、作った泥団子をとっておくことで遊びを持続する安心感を得ている様子が伺えた。ワークショップを通して、泥団子への興味関心が高まり、泥団子に色付けを行う際には「水星の色にしよう。」と決めていたり、色付けを行った後に「冥王星みたいになった。」と関連付ける姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

泥団子作りを始めたことで、戸外では活発な遊びだけでなくじっくりと取り組む遊びも楽しめるようになり、遊びの幅が広がったように思える。また泥団子は崩れてしまってもまた作り直せるという利点から、どの年齢の子どもも取り組みやすく、諦めずにやってみようとする気持ちや集中して継続する力が育んでいた。宇宙についても、日常でなかなか触れることができない内容であった為、子ども達の興味関心を広げるきっかけになっていた。ホームページや日々のお知らせで保護者には様子を伝えた。子どもの姿等はお迎え時にも伝えた為、活動について子どもとの会話も弾んでいた。

活動中の面白いエピソードが職員の休憩中の話題になり、すくわくの活動が子ども、保護者、職員、すべてのコミュニケーションツールになっていてとても良かった。